

■障がい者生活ニーズ実態調査(仮称)に関する意見等への対応について

資料4

部会等での意見		事務局の方針
全体について	施設入所者や精神科病院入院者を分けてニーズを集約できるようにできないか。【委員】	基本的事項に、現在の主たる住まい(自宅、施設、病院、GH)を聞く項目を追加する。 「あなたは、いま、主にどこで暮らしていますか」
	集計のやり方として、親の高齢化が大きな問題となっている状況を踏まえ、「親の高齢化」「重度障がい」「サービス利用なし」の状況がクロス集計できるようにできないか。【委員】 また、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がいをまとめて身体障がいとしているが、分けて分析することができれば、より深く実態把握ができるのではないか。【委員】	問13において、「親や兄弟と暮らす」を選んだ方に、さらに親の年齢を確認する。 サービスの利用状況については、全体のボリューム、今後の国の生活のしづらさ調査等を鑑みて、質問項目には追加しない。 身体障がいについては、質問項目4でさらに細分化して聞いており、回答数も鑑みながら、クロス集計についても検討する。
	聴覚障がい者には、コミュニケーションができた上での悩み以前に、コミュニケーションそのものができないという悩みがあることについても考えるべき。【委員】	問31に加えて、コミュニケーション支援に係る調査項目を追加し、状況を把握する。
	アンケート調査においては、回収率が大きな問題。事務局が提案した配布数は、回収率5割を前提にしている。回収率が下がると、調査の土台が崩れてしまうことを意識しなければならぬ。【委員】	回答の選択肢を分かりやすく記載し、数を極力絞ることで、可能な限り回答者の負担軽減を図る。
	最終的に分析が可能なアンケートにしなければならぬ。 前回の調査と比較するのであれば、あまり新しい要素を組み入れると、比較が難しくなる。比較をとるか、新しいことを聞くか、部会として判断すべき。また、別の調査で既に聞いていることについては、改めて聞く必要はないので、整理すべき。本府の障がい福祉室以外、あるいは、府下市町村が実施した関連データを活用することも有効。【委員】	各項目を検討する際、ご指摘も踏まえて判断する。

問番号	平成22年度調査項目	選択肢	部会等での意見	意見等を踏まえた考え方
基本的事項				
問1	この調査票は、だれが書きますか。	1 あて名ご本人 2 家族、介助者又は施設職員(ご本人に代わり記入) 3 家族、介助者又は施設職員(ご本人の意見を確認し、いため家族等の考えで記入) 4 その他(ご本人との関係(かんけい))		「4その他」を削除し、2と3の「家族、介助者又は施設職員」に「等」を加える。
問2	あなたの住んでいるところと、年齢を書いてください。また、あなたの性別に○をつけてください。		○性別の質問について、LGBTへの配慮が必要ではないか。【事務局】	性別については、引き続き確認する。
問3	「身体障がい者手帳」(体の障がいがある方のための手帳)についてお聞きします。あなたの身体障がい者手帳に書かれている「等級」は何級ですか。	1 1級 2 2級 3 3級 4 4級 5 5級 6 6級 7 身体障がい者手帳は持っていない		
問4	どのような障がいですか。	1 視覚障がい(=目に障がいがある) 2 聴覚障がい・平衡機能障がい(=耳に障がいがある、バランスがとれない) 3 音声・言語・そしゃく機能障がい(=声が出ない、言葉が話せない、うまく噛めない) 4 肢体不自由(=手や足などに障がいがある) 5 内部障がい(=内臓に障がいがある)		
問5	「療育手帳」(知的障がいがある方のための手帳)についてお聞きします。あなたの療育手帳に書かれている「総合判定」はどれですか。	1 A 2 B1 3 B2 4 療育手帳は持っていない		
問6	「精神障がい者保健福祉手帳」(精神障がいがある方のための手帳)についてお聞きします。あなたの精神障がい者保健福祉手帳に書かれている「等級」は何級ですか。	1 1級 2 2級 3 3級 4 精神障がい者保健福祉手帳は持っていない	○手帳を持ってなくても、自立支援医療(精神通院)を受けている方もいるので、確認してはどうか。	自立支援医療(精神通院)の受給状況を確認する項目を追加する。 「5 精神障がい者保健福祉手帳は持っていないが、自立支援医療(精神通院)を受給している」
問7	あなたの障がいのことについてお聞きします。あなたの「障がい程度区分」はどれですか。	1 区分1 2 区分2 3 区分3 4 区分4 5 区分5 6 区分6 7 (申請したが)非該当 8 障がい程度区分の認定を受けていない(申請していない) 9 わからない	○「障がい程度区分」は「障がい支援区分」に修正すべき。【事務局】	平成28年度は、「障がい程度区分」の方もいるため、「障がい支援区分(障がい程度区分)」と記載する。
問8	あなたの障がいが、はじめてわかったのは(だいたいの年齢で)何歳ごろですか。			
問9	あなたの1か月の収入は、いくらぐらいですか。1か月あたりのだいたいの金額(千円や万円単位)を書いてください。	1 あなたが働いてもらっているお金 2 家族などから出してもらっているお金 3 障がい基礎年金や特別障がい者手当等のお金 4 生活保護によるお金 5 その他 6 決まったお金はもらっていない 7 わからない		6と7はまとめて、選択肢を減らす。
	設問以外の意見		○難病等の状況に係る質問項目を追加すべきではないか。【事務局】 ○発達障がいを確認する質問項目を追加すべきではないか。【委員】	基本的事項として、以下の質問を追加する。 「難病の方は、病名を記載してください」 基本的事項として、発達障がいの状況を聞く質問項目を追加する。

地域やまちで過ごす	問10	あなたは、いま、平日はどのように過ごしていますか。また、休日はどのように過ごしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 仕事をする(授産施設や作業所等も含む) 2 学校に通う 3 通所施設(仕事は除く)に通う 4 病院で過ごす 5 自宅や入所施設で過ごす(買い物、趣味、社会活動などで外出する) 6 自宅や入所施設で過ごす(外出はほとんどしない) 7 その他 	○選択肢5と6について、主に外出・過ごし方を聞いたら、「自宅や入所施設で過ごす」は削ってはどうか。【委員】	選択肢5は「買い物、趣味、社会活動などで外出する」、選択肢6は「外出はほとんどしない」に修正する。 7は削除し、選択肢を減らす。
	問11	あなたは、今後は、平日と休日をどのように過ごしたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 仕事をする(授産施設や作業所等も含む) 2 学校に通う 3 通所施設(仕事は除く)に通う 4 病院で過ごす 5 自宅や入所施設で過ごす(買い物、趣味、社会活動などで外出する) 6 自宅や入所施設で過ごす(外出はほとんどしない) 7 その他 	○選択肢5と6について、主に外出・過ごし方を聞いたら、「自宅や入所施設で過ごす」は削ってはどうか。【委員】	選択肢5は「買い物、趣味、社会活動などで外出する」、選択肢6は「外出はほとんどしない」に修正する。 7は削除し、選択肢を減らす。
	問12	あなたは、いま、夏休みや冬休みなど学校が長い休みの日は、どのように過ごしていますか。また、今後は、どのように過ごしたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 学童保育に通う 2 通所施設に通う 3 病院で過ごす 4 自宅や入所施設で過ごす(買い物、趣味、社会活動などで外出する) 5 自宅や入所施設で過ごす(外出はほとんどしない) 6 その他 	○選択肢4と5について、主に外出・過ごし方を聞いたら、「自宅や入所施設で過ごす」は削ってはどうか。【委員】	選択肢4は「買い物、趣味、社会活動などで外出する」、選択肢5は「外出はほとんどしない」に修正する。 6は削除し、選択肢を減らす。
	問13	あなたは、いま、誰と暮らしていますか。また、今後は、誰と暮らしたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 一人で暮らす 2 親や兄弟と暮らす 3 配偶者や子どもと暮らす 4 友達とグループで暮らす 5 入所施設で暮らす 6 病院で暮らす 7 その他 	○家族の高齢化が大きな課題であることから、「誰と暮らしているか」だけでなく、家族の構成・年齢等の実態を調査できないか。【委員】	7は削除し、選択肢を減らす。 基本的事項に追加した現在の住まいを確認する項目の下に移動する。 「親や兄弟と暮らす」を選んだ方に、さらに親の年齢を確認する。
	問14	あなたが、希望する暮らしをするためには、何が必要ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 入居できるグループホームやケアホームが多くあること 2 障がい者が生活しやすい住宅(1を除く)が多くあること 3 希望する暮らしを練習するところがあること 4 日常生活の介助や支援が充実していること 5 お金の管理や生活上の法的手続きなどを支援する制度が充実していること 6 同じ障がいのある人との交流や相談できるところがあること 7 入所できる施設が多くあること 8 その他(具体的に) 		1のうち、「ケアホーム」の記述は削除する。
	問15	あなたが外出するときに、困ることや不便に思うことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 道路に段差がある、信号や視覚障がい者誘導ブロックがわかりにくい 2 建物の設備(階段、トイレ、エレベーター等)が不便 3 通行車両(自動車や自転車など)が危ない 4 公共交通機関(バス・電車など)が利用しにくい 5 移動支援サービス(ガイドヘルプ)が利用しにくい 6 困った時に周囲の人の手助けがない(または、お願ひしにくい) 7 その他(具体的に) 8 外出するときに特に困ることはない 9 ほとんど外出しないのでわからない 		8と9はまとめて、選択肢を減らす。
	設問以外の意見			○「生活で困っていること」の項目を新設できないか。【委員】	問14は「生活で困っていること」がある前提で、必要なことを聞いているので、項目の新設まではせず、問14を修正する。 具体的には、周囲の理解や配慮に関する選択肢を追加し、選択肢の順番を整える。
学ぶ	問16	あなたが最後に卒業した学校(いま学校に行っている人は、いまの学校)はどれですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 小学校 2 特別支援学校(以前の盲・聾・養護学校)小学部 3 中学校 4 特別支援学校(以前の盲・聾・養護学校)中学部 5 高等学校 6 特別支援学校(以前の盲・聾・養護学校)高等部 7 高等専門学校・短期大学・大学 8 大学院 9 専修学校・各種学校 10 その他(具体的に) 11 まだ学校に行っていない 		10は削除し、選択肢を減らす。
	問17	あなたが、学校で困ったこと(いま学校に行っている人は困っていること)は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 学校が遠いなど通学が困難 2 学校施設の構造や設備が障がいに対応していない 3 授業や学習の内容が分かりにくい 4 同じ年齢の子どもと一緒に学ぶことができない 5 障がいについて理解してくれる友だちや先生が少ない 6 学校内での活動を助けてくれる人が少ない 7 その他 8 特いない 9 まだ学校に行っていない 		9は削除し、選択肢を減らす。 ※本項目は、問16で1～9を選択した人のみの対象とする。

	問18	あなたが、学校でもっとしてほしかったこと(いま学校に行っている人はしてほしいこと)は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 生活に役立つこと(生活訓練、生活指導など) 2 就職(仕事)につながること(職業体験、現場実習など) 3 障がいのない子どもとの交流や学習 4 障がいのある子ども同士の交流や学習 5 その他(具体的に) 6 特にない 7 まだ学校に行っていない 		7は削除し、選択肢を減らす。 ※本項目は、問16で1～9を選択した人のみの対象とする。
	問19	あなたが、もっといろいろなことを学習したいと思ったときに、困ることや不便に思うことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 時間が無い 2 学びたい内容のものが無い 3 仕事や生活に必要な内容のものが無い 4 学習に関するお知らせが少ない 5 学習の内容に障がいへの配慮が無い(学習の内容がむずかしい) 6 学習する施設の構造や設備がバリアフリーになっていない 7 お金がかかる 8 その他(具体的に) 9 特に困ることはない 10 学習したいことが無い 	○「5学習の内容に障がいへの配慮が無い」について、「学習内容に配慮が無い」ではなく、「障がいの特性に応じた配慮が無い」とすべきではないか。【事務局】	「5 学習の内容に障がいへの配慮が無い」の聞き方を、「学習において障がいの特性に応じた配慮が無い」に修正する。
	設問以外の意見		○放課後等デイサービスを使う目的を知りたい。学校での学習に不満があって、学習を受けたいのか、など。【委員】	全体のバランスを鑑みて、個別のサービスについての質問は設けない。	
働く	問20	あなたは、いま、働いていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 働いている 2 以前は働いていたが、いまは働いていない 3 働いていない(働いたことがない) 4 まだ学校に行っていない、または学校に行っているため働いていない 	○働いているかいないかだけでなく、どのように働いているか、今後どのように働きたいか、も追加すべきではないか【事務局】 ○働きたくても働けないという問題があるので、就労状況だけでは不十分ではないか。【委員】 ○就労状況の中で、施設の種別(A型・B型)や規模を聞いてはどうか。また、働いている時間や働きたい時間も調査できないか。【委員】	
	問21	仕事を辞めた理由は何かですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 給料(工賃)が少なかった 2 仕事の内容が不満だった 3 辞めさせられた 4 個人の事情(結婚、出産、就学、病気など) 5 困ったときに相談できる人がいなかった 6 ほかに人と比べて昇給や昇進が遅かった 7 職場の人間関係(まわりの人とうまくいかなかったなど) 8 その他(具体的に) 9 特に理由はない 	○働けない、働き続けられない理由と、働く、働き続けたいと思う理由、また、そのために望むこと、を聞いてはどうか。【事務局】 ○仕事を辞めた理由に「精神病の発症・悪化」も加えられないか。【委員】	頂いた意見を踏まえ、全体を修正する。※調査票(案)参照
	問22	仕事が増えるとももらえるお金(工賃)も多くなります。将来の生活と仕事を考えたときに、あなたは仕事でももらえるお金(工賃)が増えることを希望しますか。また、増えることを希望する場合は、増えることを希望する1か月の金額(千円や万円の単位で)を書いてください。	<ul style="list-style-type: none"> 1 仕事がいそがしくなっても、1か月に約〇円増えることを希望する 2 いまの工賃に満足している(工賃が増えることは希望しない) 3 その他(具体的に) 4 わからない 	○工賃に限らず、働いてどれくらいの収入が欲しいかを聞いてはどうか。【事務局】	
	設問以外の意見		○合理的配慮については、今後、企業側も努力すべきであるが、働き続けるうえで、具体的に配慮してほしいことや、それを訴える窓口があるか、についても聞けないか。【委員】		
心や体、命を大切に	問23	あなたは、いま、リハビリテーションや生活訓練などを受けていますか。また、あなたが受けている(受けていない方は受けてほしいと思う)リハビリテーションや生活訓練は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> ■リハビリテーションや生活訓練を受けていますか 1 受けている 2 必要だが受けていない 3 受ける必要がない ■受けている(受けてほしいと思う)リハビリテーションや生活訓練 1 身体機能を回復、維持する機能訓練 2 言語の訓練 3 就業のための職業リハビリテーション 4 自立生活のための日常生活・社会生活に関する訓練 5 手話や点字などのコミュニケーション訓練 6 その他(具体的に) 	○健康保持の取り組み状況についても聞いてはどうか。【事務局】 ○リハビリテーションの中で、精神障がいの方はカウンセリングもあろうと思うので、そういった状況も聞けないか。精神障がいの方への配慮を把握するための項目が少なく感じる。【委員】	全体の質問項目数を抑える観点から、健康保持の状況については確認しない。カウンセリングについては、質問項目を、「リハビリテーションや生活訓練など…」から「リハビリテーションや生活訓練、カウンセリングなど…」に修正し、選択肢に「6心理カウンセリング」を追加する。
	問24	あなたは、どれくらいの回数、病院に通院(往診も含む)していますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 ほとんど毎日通院している 2 週に2回から3回程度 3 週に1回程度 4 月(つき)に2回から3回程度 5 月に1回程度 6 通院していない 7 入院している 	○通院状況の質問があるが、難病患者は指定病院に行く必要があり、人よりも通院時間がかかる。通院の回数だけでなく、通院時間も含めて考えるべき。【委員】	通院全体に要する時間については、かかっている医療機関の数や通院方法等、様々な要素が関連することから、分析が困難であり、質問項目には追加しない。

	問25	あなたは、病院で診察などを受けるとき、困ることや不満なことは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 通院の介助の確保がむずかしい 2 施設の構造や設備がバリアフリーになっていない 3 医師や看護師などに障がいへの理解がない 4 医師や看護師などとコミュニケーションがとりにくい 5 医師や看護師などの説明がよく分からない 6 入院を断られる(個室や介助者の付添いを求められるなど) 7 自宅での医療を受けにくい(往診、訪問看護、訪問リハビリなど) 8 医療費が高い 9 診察してもらえない病院が少ない 10 その他(具体的に) 11 特に困ることはない 12 わからない 		11と12はまとめて、選択肢を減らす。
	問26	あなたは、日ごろの生活の中で、大きな悩みや心配事でストレスを感じることはありますか。また、あなたは、誰に、悩みや心配事を相談しますか。	<ul style="list-style-type: none"> ■ストレスを感じること 1 ある 2 ない ■悩みや心配事(ごと)を相談する人 1 家族 2 友だち 3 施設等の職員 4 ホームヘルパー 5 学校の先生 6 職場の人 7 専門の相談機関 8 かかりつけの医師や看護師 9 その他(具体的に) 10 相談できる人がいない 11 わからない 	○「専門の相談機関」は、「相談機関や相談支援事業所」としてはどうか。【委員】	選択肢7を「専門の相談機関や相談支援事業所」に修正する。 10と11はまとめて、選択肢を減らす。
楽しむ	問27	あなたは、近くに住んでいる方々と、話をしたり、一緒に活動をしたりしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 誰とも話をしていない 2 会ったときはあいさつをする 3 よく話をする 4 地域活動(掃除や行事など)と一緒に活動する 5 その他 		5は削除し、選択肢を減らす。
	問28	あなたは、今までに、ボランティア活動など自分以外の人々を支える活動に参加したことがありますか。また、今後は参加したいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 参加したことがあり、今後も参加したい 2 参加したことはあるが、今後は参加したくない 3 参加したことはないが、今後は参加してみたい 4 参加したことはないし、今後も参加したくない 		項目自体を削除し、以下の2項目の質問を新設する。
	問29	あなたは、自分以外の障がいの者のために、どのようなことができると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 障がいの者の日常の相談にのる 2 障がいの者を支えるボランティア団体等に参加する 3 障がいの者に対する理解を深める活動をする 4 障がいの者と近くに住んでいる方々との交流や活動を助ける 5 その他(具体的に) 6 特になし 		項目自体を削除し、以下の2項目の質問を新設する。
				○スポーツや文化、ボランティア活動だけが「楽しむ」の категорияではないはず。ふつうの余暇活動と、その中の困りごと、必要な支援をメインに聞けないか。【委員】	余暇活動に係る質問を新設する。※調査票(案)参照
ひととして尊敬を持って生きる	問30	あなたは、いま、知りたいニュースやお知らせなどを、おもにどこから得ていますか。また、今後は、どこから得たいですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 テレビ 2 ラジオ 3 新聞・雑誌 4 インターネット 5 家族(または介助者) 6 福祉(施設等の職員) 7 市町村の広報誌(市政だよりなど) 8 職場・学校など 9 その他 	○ニュースやお知らせの情報元に、「同じ仲間」というような視点も入れてほしい。【事務局】 ○「家族」と「介助者」は別の選択肢にしてはどうか。【委員】	「5 家族(または介助者)」を「5 家族や友人」と「6 介助者」に分割する。
	問31	あなたは、人と話をするとき、どうしていますか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 ことばで話す 2 手話 3 筆談・文字盤 4 触手話・指点字 5 携帯電話などを使った電子メール 6 身振りや合図など 7 口話・読唇(相手の唇の動きを読み発語すること) 8 その他(具体的に) 9 うまく話ができない 	○コミュニケーション支援に係る調査項目(量的・質的な充実度、認知度、利用意向、利用しない理由等)を追加してはどうか。【事務局】	本質問の後ろに、コミュニケーション支援に係る調査項目を追加する。※調査票(案)参照
	問32	あなたは、障がいがあるためにあきらめたこと(または、これからあきらめなくてはならないこと)は何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 1 進学 2 就職 3 友だちをつくる 4 結婚 5 出産 6 旅行などの外出 7 スポーツ、芸術・文化活動 8 その他(具体的に) 9 特になし 	○「あきらめたこと」に「地域での自立生活」を追加してはどうか。【委員】 ○回答は一つに絞らなくても良いのではないかと。【事務局】	「1 地域での自立生活」を新設し、番号を一つずつずらす。回答は複数回答を可とする。
	問33	あなたは、AからGのそれぞれの場所で、差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。 A: 学校 B: 職場・仕事 C: 病院・福祉施設 D: お店 E: 電車・バス F: 住居・住まい G: 近所付き合い	<ul style="list-style-type: none"> 1 無視される、仲間はずれにされる 2 じろろ見られたり、指をさされる 3 悪いことをしたように見られる 4 助けて欲しい時に助けてもらえない 5 入居・入店などを拒否される 6 その他 7 いやな思いをしたことはない 8 その場所に行ったこと(経験)がない 	○「子ども扱いされる・見下げられる」「お客として見てくれない、介助者に話しかける」「交通機関や施設の利用を拒否される」等の例を追加してはどうか。【委員】 ○場所に行政機関も入れるべき。【事務局】	3を「子ども扱いされる」に変更する。 5を「入居・入店・乗車などを拒否される」に変更する。 A～Gの場面に加えて、H:行政機関を追加する。
	設問以外の意見			○防災の項目を新設し、「災害時に困ること・不安なこと」「必要とされること」を聞けないか。【委員】	防災に係る質問を新設する。※調査票(案)参照